

京大での 11 年間と新たな一歩

雪江明彦

私は 2023 年 3 月 31 日をもって京都京都大学理学研究科を定年退職しました。2012 年 4 月に東北大学から赴任し、11 年間にわたり数学教室にお世話になりました。数学教室は中庭があり、季節折々の花も咲き、大変癒やされました。

京大での 11 年間は今思うとあっという間でしたが、それなりに充実した時間を過ごせたことには感謝しています。京大の自由な学風、理学部の「ゆるやかな専門化」というのはとても良い伝統だと思います。近年コンプライアンスとか色々言われていて、学生に対する対応も多くなってきているようにも思いますが、あまり管理しすぎると、京大ではなくなってしまうと思うので、京大の学風は是非継続して行っていただきたいと思います。

京大での 11 年間で私は専攻長を 1 回、専攻主任を 2 回努めそれなりに忙しい時期もありましたが、全体的には研究する時間もあり、少しではありますが、論文も書けました。残念ながら私は結局博士課程に進学する院生を輩出することができませんでした。そのため京大の学生は優秀だったと思いました。私は主に基盤コースや今ではグループ指導の院生とセミナーをしましたが、そういう院生で卒業時に論文を学術雑誌に投稿し出版された方が何名かいました。

独立法人化されてからずっとですが(私が東北大にいたときからそうですが)、色々なことをやらされ、会議をしたり、申請書類を書いたり、報告書を書いたり、研究時間を減らされるようなことが多く、皆さん大変だと思いますが、なるべくしなくてもよい仕事は減らす努力をして数学に貢献して行っていただきたいと思います。

さて私は京大を退職して、仙台に引っ越し、仙台の家で家族と一緒に生活しています。上の娘は結婚し独立しました。私は犬 2 匹を散歩させたり、下の娘を車で送り迎えしたり、庭の木の手入れをしたりしています。13 年前に植えたレモンの木が今年初めて花を咲かせ、12 月頃に実が収穫できるかもしれません。次ページの写真は庭のヤマボウシとレモンの木です。

数学では、科研費が取れたので、今は東北大で客員研究員として部屋をもらい、また非常勤講師もしながらすごしています。今学期は数理統計を 2 クラス受け持っています。私は 13 年前くらいに代数学の教科書を出版したのですが、今はその英語版を出版しようと思って作業をしています。850 ページくらいのバージョン 0 はできて、これから時間をかけて完成させようとしています。その作業が済んだらまた研究を再開しようと思っています。



図 1: ヤマボウシ

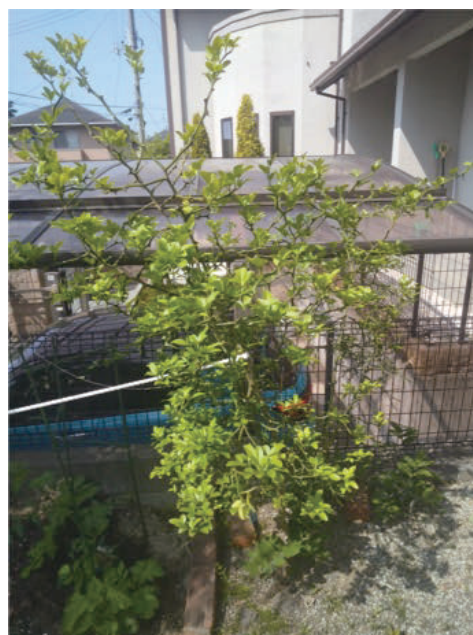


図 2: レモン

ます。いつも6月に京大で研究集会を開催していましたが、今年は秋くらいに仙台で研究集会を開催しようと思います。来年は多分6月にしますが、数理研の研究集会にも参加しようと思っています。そのときには数学教室にもお邪魔するかもしれません。研究でやろうと思っていることがいくつかあるので、それなりにやっていこうと思います。また、本の出版が落ち着いたら、来年くらいに数学に関して youtube を始めるかもしれません。

とりとめもなく書きましたが、皆様ご健康で沢山優れた研究結果を発表され、数学の発展に貢献されることを仙台から祈っております。